



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

小学生病院体験ツアーを開催します



医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、臨床工学士、栄養士、歯科衛生士など、さまざまな職種の仕事を体験できるように準備しています。

地域の皆さんが病院に愛着を持ってもらえるように、また、未来の医療従事者を夢見てもらえるように、たくさんの楽しい企画を用意して待っています。

とき 7月27日(金) 10時～17時15分

ところ 市民病院

対象 碧南、西尾、安城、高浜市内在住の小学5・6年生と保護者

※昨年参加した小学生は参加できません。

定員 12組程度（申込み多数の場合は抽せん）

申込み 7月2日(月)（消印有効）までに往復はがきに必要事項を記入し、市民病院管理課（〒447-8502 平和町3-6）

往信裏面 ①参加者氏名（ふりがな）、性別、保護者氏名（ふりがな）、性別②学校名・学年③郵便番号・住所 ④電話番号

返信表面 参加者の①郵便番号・住所②氏名

【記載例】

往信 〒447-8502 碧南市平和町3-6 碧南市民病院 管理課行	何も書かないで ください	返信 参加者の ・郵便番号 ・住所 ・氏名	(裏面) ①参加者氏名 (ふりがな)・性別 保護者氏名 (ふりがな)・性別 ②学校名・学年 ③郵便番号・住所 ④電話番号
--	-------------------------	--	--

碧南の歴史へのいざない

問合せ
文化財課内市史資料
調査室 ☎(41)4566

No. 49 大浜藩が生まれて まもなく250年(3)

大浜藩の殿さまとなる水野忠友は、12歳年上の田沼意次から幕府官僚としての仕事の多くを学びました。『御家中興記』という文書には、忠友は常日ごろ役所から自分の屋敷にまで大量の書類を持ち帰り深夜まで目を通していたとあります。先輩である意次は忠友を高く買っていて、自分の所に提出された提言書を忠友にも見せるようにしていたといひます。

1754年、美濃郡上で大規模な百姓一揆が起こりました。この一揆は幕府の老中まで巻き込む難事件へと発展しました。将軍徳川家重は側近の意次を評定所（幕府の最高裁判所）へ送り込み、念入りに調べさせました。この事件（郡上一揆）をつぶさに調べた意次は、百姓から年貢を厳しく取り立てるだけでは幕府や藩の財政は限界を迎えてしまうと予想しました。

意次は評定所での確にさい配をふるい、難事件を解決させました。そして、将軍家重をはじめ、幕府内の期待に見事にこたえました。この事件以後、意次は幕府政治に影響力をもつようになりました。

『徳川実紀』には、1761年、49歳で亡くなる家重は、将軍を継ぐことになる家治に「田沼意次は有能であるから重用するように」と遺言を残したと書かれています。10代将軍家治は、意次を側用人とし、将軍の命令は側用人によって老中へ伝達される仕組みでした。

1767年、田沼意次は遠江相良（静岡県牧之原市）に2万石を与えられ、忠友には三河大浜を中心に6千石が将軍から与えられました。



△大浜村絵図
(1832年 林泉寺所蔵)